

「総合衛生対策」を提案します。

衛生環境リスクは企業のイメージダウンや、ブランド、製品自体に対する甚大なダメージを被り、場合によっては企業の存続に関わる問題に波及する恐れがあります。

ニッシン・ジャパンは衛生・環境にかかわる製品や工法等の情報を提供するように心がけております。

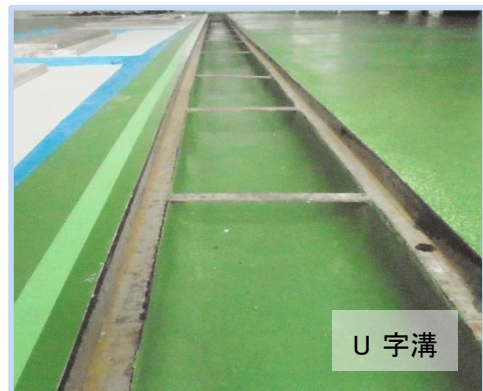
食品、飲料、製薬製造においては、菌や埃の浸入は、商品の衛生寿命を短くし、異物混入の原因ともなります。さらに浮遊菌、落下菌などの対策は必須であり、環境の整備も重要な課題となっています。

弊社は長年、環境衛生の提案を続けてきておりますが、今回総合的に製造場の衛生改修をさせて頂きました。

1. 床面 抗菌効果の Ag+ (銀イオン) が配合された塗り床材 [ステリコート UC] で全面改修。

床と壁際はごみが溜まりにくくし、清掃性向上のため同じ材料にて面取り(R付け)を施し、痛んでいた U 字溝内面も全面塗り替えし、角に R 付け施工をした。

又、薬品で床面が侵されそうな箇所に耐薬品性に優れた [セラポリマーFX クリアー] を上塗りした。



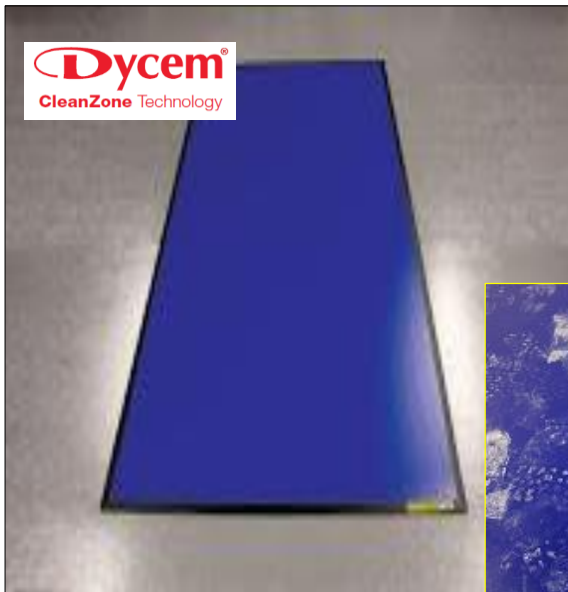
2. 天井・壁 [バイオデックスシーン SI] を天井壁に塗布。天井と壁の隙間から埃や菌が落下しないように伸展性のある「フレキシブルテープ」にて隙間をバイオデックスシーン SI にて塗り込んで塞いだ。天井のボード継ぎ目にも同様にテープにて隙間が出来るのを防いだ。

3. 腰壁 清掃性が良く丈夫で光沢のある [セラポリマー2000] を使用した。



4. 出入り口 外部との開口がじかに製造場のため、内部に大きさや間仕切りがオーダーメイドできる [クリーンブース] を設置し、靴の履き替え場所と外部からのホコリ侵入防止対策とした。

食品・飲料工場 で ダイセム FP マット 採用増える



靴底の汚れを吸着

サイズは、600mmx900mm
900mmx1200mm
2種類（サイズ調整 製作可能）

埃吸着マット [FP マット] の注文増加

従来の粘着マットのようにフィルムを剥がさず、清掃するだけで何度でも使用可能。

靴底の埃や菌をミクロン単位まで吸着、銀イオンで菌の繁殖を抑制する[FP マット] はエアシャワーや研究室等出入り口に置くだけ。マットの裏面に滑り止め加工をして、床面からずれにくいように仕上げている。

粘着タイプのフィルムを剥がす際に発生する埃が無く、剥がしたフィルムの処分がなくなることがメリットで、製薬、精密機器や研究所等での使用が増加してきた。更衣室全体や広い通路、車輪の通過する箇所は現場の広さに合わせて施工設置するクリーンゾーンマット、ワークゾーンマットが対応する。

[ダイセムマットは英国 Dycem社 ISO取得工場で作られている。]

スーパー店舗の天井

バイオデックスシーン S I（防菌防カビ液体プラスチック塗料）

最近スーパーの冷凍食品や生鮮コーナーは冷蔵・冷凍ショーケースの冷気と湿気が天井に上がり、結露等で天井材にカビが発生してしまう箇所が増えている。これはお客様が商品を取り出しやすいように扉の無いオープンショーケースになっていることが原因と思われ、防災用垂れ壁で冷気が拡散しない箇所にも発生している。

通常のペイントでは半年もしないうちにカビが再発生してしまい、頻繁に塗り替えしているのが現状である。



バイオデックスシーン S I にて塗装した箇所はカビが長期発生しないことが実証され、スーパー店舗間で広まりつつある。

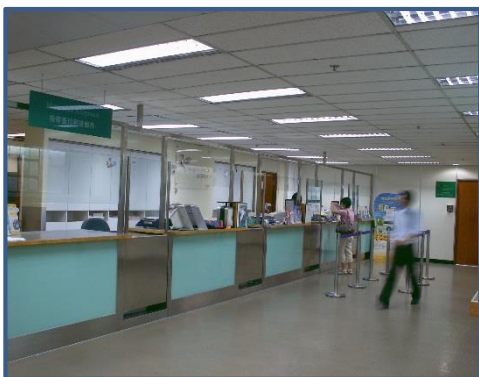
[建築物石綿含有建材調査者] 資格取得

国土交通省に登録し、当該機関が行い講習を修了した者に建築物石綿含有建材調査者の資格を付与する制度にて、試験に合格し調査者の資格を取得し登録されました。

建築物の解体、改修に伴う解体及び建物解体においては事前に、使用されている建材にアスベストが含有されているか調査・分析し、含有されている場合は適正な処理をしなければなりません。

ニッシン・ジャパンは石綿の調査から除去工事、処分まで請け負っていますが、この資格取得により更なる調査依頼を受け入れる体制を作ることが出来ました。

オフィス、住宅、建物の内外装材が主な調査対象ですが、建物によってはボイラー、空調設備の配管保温材、煙道(煙突)内部の断熱材にも含有されていることがあり、さらに最近は公共施設等の建物、マンション等の外壁塗装にも含有されている場合があります。



オフィス等の内装材



外壁塗装材

防食テープの効果

● 油送配管30年も錆びていなかった

臨海地区にあるコンビニートの棧橋配管に防食テープ(ペトロラタム系デンゾーテープ)が巻かれて約30年余。更新のためテープを剥離した写真がこちら。

上部はさすがに風雨にさらされ、ペトロラタム成分がなくなりかけていたが、側面から下回りには腐食が見られない。設置当時のままパイプのサイズ印字がはっきり残っていた。



● ペトロラタム系防食テープは、ピット内パイプやフランジ部のボルトの防食、さらに鋼材とコンクリートの付け根やタンクの裾周りの防食、防水にも20年、30年の実績があります。

少し早いですが、展示会出展のお知らせ

今年も「**ドリンク ジャパン**」に出展します。

第3回 **ドリンク ジャパン**

飲料 液状食品 開発・製造展

第31回 **インターフェックス ジャパン**

医薬品 化粧品 洗剤 研究・製造技術展

◆ インターフェックス ジャパンと同時開催になります。

会 期：2018年6月27日(水)～29日(金)

会 場：東京ビッグサイト

主 催：リード エグジビション ジャパン株式会社

共 催：(一社)全国清涼飲料連合会※

特別協力：(株)ビバリッジ ジャパン社

会社案内を制作しました

ニッシン・ジャパンは設立30年を越え、新たな挑戦を迎えようと意気込んでおります。

会社案内を制作するに当たり、今までご紹介していなかった取扱製品や工法をまとめた会社案内にいたしました。

NJニュースとともにお送りいたします。

御社にてお役に立つような製品など、お目に留まりましたら資料請求等ご遠慮なくお申し付け下さい。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



ニッシン・ジャパン株式会社

東京都大田区池上 4-3-11 〒146-0082

Tel : 03-3754-7622 Fax : 03-3754-7623

Mail : steri@nissin-jpn.com

HP : www.nissin-jpn.com